

教令

一般ローマ暦に記載されるコルカタの聖テレサおとめの祝祭について

「あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になりなさい」(マルコ 10・43)。福音を徹底的に生き、それを恐れずに告げ知らせたコルカタの聖テレサは、つつしみ深い奉仕の気高さと栄誉のあかしである。もっとも小さい者であるだけでなく、もっとも小さい者のしもべでありたいと望むことによって、彼女はいつくしみの模範となり、善いサマリア人の真の姿となったのである。実際、聖テレサにとっていつくしみとは、彼女のあらゆる働きに味わいを与える「塩」であり、貧しさと苦しみのために流す涙さえ残っていない人々の闇を照らす「光」であった。

イエスの十字架上の叫び「渴く」(ヨハネ 19・28)は、聖テレサの心のもっとも深いところに届いたのである。それゆえ彼女は、生涯を通じて、愛と魂に対するイエス・キリストの渴きを満たすために全身全霊をささげ、もっとも貧しい人々の中でキリストに仕えた。神の愛に満たされた聖テレサは、同じ愛を他の人々にも分け隔てなく注いだのである。

2016 年に教皇フランシスコによって列聖されたコルカタの聖テレサの名は、体と心の苦難の中で慰めを求める多くの人の希望の源として輝き続けている。

それゆえ、教皇フランシスコは、司牧者、男女修道者、そして信者の団体からの嘆願と要望を受け入れ、コルカタの聖テレサの靈性が全世界のさまざまな地域に及ぼす影響を考慮して、コルカタの聖テレサおとめの名を一般ローマ暦に記し、毎年 9 月 5 日にその任意の記念日がすべての人によって祝われることを決定した。

この新しい記念日は、すべての暦と典礼書に加えられ、ミサと時課の典礼を祝うために用いられる。その際、本教令に添付された典礼式文を採用し、司教協議会によって翻訳、認可され、当省による認証を得て、公表されなければならない。

どのような反対事項も妨げにはならない。

2024 年 12 月 24 日、典礼秘跡省にて

長官 アーサー・ローチ枢機卿

次官 ヴィットリオ・フランチエスコ・ヴィオラ大司教